



発行所 秋田県鹿嶋町役場
編集発行人 成田喜八

三十二年度決算は継続審議

十二月定例町議会の経過

町議会定例会は十二月二十二日開会。三十三年度一般会計追加予算、三十二年度決算等二十三議案と請願七件を審議、決算認定二議案を総務財政委員会付託継続審議とし、二十一日議案を可決、請願七件五件を採択、二件を土木委員会付託継続審議とし二十三日閉会した。大要次のとおり。

第一日の一般質問は、沢田の対策について。
一義 佐藤辰五郎、藤原愛三、三沢三吉、佐藤政隆、永井与藏、小笠原久、長谷川真一郎、小坂保雄の九議員よりなされた。

○河田教育長管理規則の権限であるが、学校長の権限であるが、最近使用規則も成案を得た。ただし大きな行事では、教育上どうかという場合でも、町発展のためには開放すべきではないかという。
○給務課長長崎給分四〇・五二坪を二五五六坪、二七坪、残り八八〇二八四・二四坪は明春三〇四坪増加分する予定である。
○小笠原議員三十二年度小学校屋体の弊害ある使用、母子寮設置

年頭に当りて

鹿嶋町長 成田喜八



金言に「元日一年の計を固る」とあるが、町行政では当初予算に当るわけであり、どこでも一応は立派な金言を執行するのである。ところが、当初予算で年度を過ぎたのは余程以前のことである。

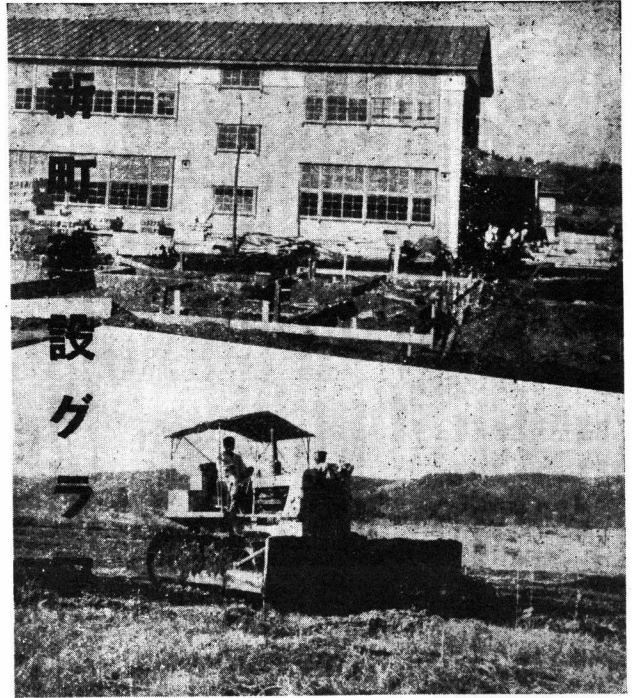
理由。渡船場費の不均衡の理由。
○佐藤保険課長三十二年度は医師の居なかつたこと、委託経営を大学等に依頼した上、渡船場に無理があつた。
○荻原町役「渡船場費の不均衡は、旧村時代のまゝを踏襲したもので、妥当でないかも知れない。実情を開いて普知したい。
○佐藤政隆議員「消防団は条件を併せて合併した。消防団員は多いのである。機械化により先発するといつて、町長が長官でも言っているが、どう考へてゐるか。
○木村消防長「今国会に消防団法の改正もあつたので、消防団も規定化されると思う。法が改正されてから検討してもよい」と思う。
○長谷川議員「都市水理事業の下水排水事業は、第二期事業と進んで喜んでゐるが、農民側から苦情がある。これが対策はどうか。
○町長の都市水は、一カ年度だけの臨時費を二カ年度まで順つてやつてゐる。この後も補助金でやりたいと陳情してゐるが、もし不可能の場合、鹿嶋地区だけの処理でも三十四年度には解決したいと考えてゐる。

町民に直結する町政を
成果おさめた移動町民室
懸案であつた移動町民室を後の町政運営に非常参考として、今回の移動町民室の移設の場、開会の時間等の出来得れば各部落ごとに関係を交へて町政の推進に少くも貢献したい。希望を町政の運営を進めて行きたい。
【龍森地区での移動町民室】

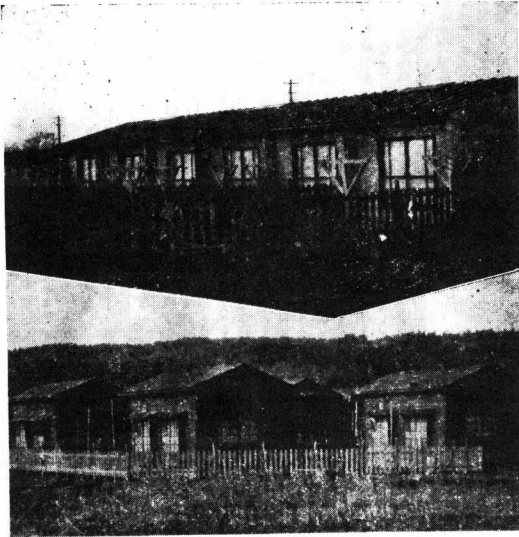
町民に直結する町政を
成果おさめた移動町民室
答一 一月一日現在所有している田、畑、宅地、家屋等につけて、自治庁より指示される価格に従つて課税される。この指示価格は一般物価の騰貴等に比例して、土地家屋の価格も当然騰貴してゐるので、税率が高くなる。
答二 町民に直結する町政を成果おさめた移動町民室。
答三 町民に直結する町政を成果おさめた移動町民室。
答四 町民に直結する町政を成果おさめた移動町民室。
答五 町民に直結する町政を成果おさめた移動町民室。



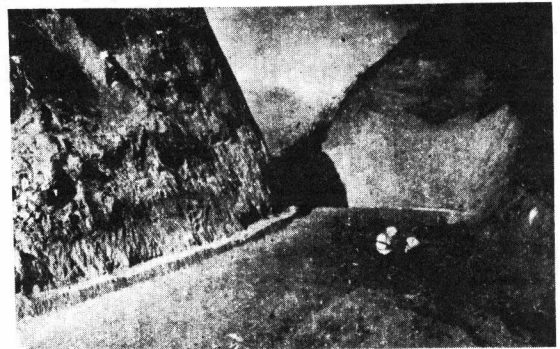
【完成した明利又産業道路】



【統合中学建設現場一下は整地作業に活躍するブルドーザー】



【年次計画で建築した公営住宅(上)プロツク(下)木造】



【坊沢一黒沢間の道路改修】



【舗装成った米代町通り】



【縦子地区簡易水道の配管工事】



【簡易下水工事現場】

庁内番号	課 室 名
①	町 長 室
②	助 役 室
③	総 務 課
④	
⑤	厚 生 課
⑥	税 務 課
⑦	
⑧	戸 籍 統 計 課
⑨	収 入 役 室
⑩	建 設 課
⑪	保 險 課
⑫	経 済 課
⑬	農 業 委 員 会
⑭	会 議 室
⑮	議 会 事 務 室
⑯	委 員 会 室
⑰	調 査 室
⑱	教 育 委 員 会

役場電話番号のおしらせ

代表番号 550番

